

リーディング・プロジェクト

■リーディング・プロジェクトの位置づけ

この計画の基本構想において、地域を経営するという観点に基づき戦略的な地域づくりを進めることを掲げています。戦略的な地域づくりとは、地域の望ましい将来像の実現に向け、さまざまな地域資源を統合して大局的な地域振興方策を講じていくことを意味しています。

このような戦略的な地域づくりを進めるためには、通常の事務・事業や施策の垣根を超えた横断的なプロジェクトを組成し、一つのまとまりある事業として推進していくことが効果的です。

このような趣旨に基づき、『望ましい将来像の実現を先導する横断的な事務・事業のまとまり』をリーディング・プロジェクトとして位置づけ、推進を図っていくこととします。

■リーディング・プロジェクトの構成と特徴

リーディング・プロジェクトは基本政策（まちづくりの基本方針）ごとに組成することとし、全体で7本のプロジェクトから構成されています。原則として、基本構想において「重点分野」と位置づけられた分野に関連するプロジェクトとなっています。

リーディング・プロジェクトを構成する事務・事業の中には、基本計画（本編）に掲載がないものもあります。これは、現時点では実施することが確定していない事務・事業も含め、戦略的な地域づくりの全体像を示すことがプロジェクトの性格や方向性を明らかにするために必要であるためです。

基本計画（本編）に掲載がない事務・事業については、今後、プロジェクトの進捗状況などを見ながら、検討を進めていくこととします。

■リーディング・プロジェクトの推進方法

リーディング・プロジェクトを推進するために、地域再生計画や構造改革特区、国の省庁による各種補助金・交付金など、利用できる制度や特定財源を積極的に活用していくこととします。

また、リーディング・プロジェクトに掲げられたプロジェクトは複数の部局にまたがる事務・事業から構成されているものが多いため、必要に応じて庁内推進本部やプロジェクト・チームを組織したり、専任課を新設するなど、庁内における推進体制を整備していくこととします。

プロジェクト1

JR竜王駅を拠点とする周辺地域活性化プロジェクト

■プロジェクトの概要

本市では現在、JR竜王駅の駅舎および南北通路、駅前広場等の整備を進めていますが、これらの施設整備を契機として、さらに甲斐市全体の活性化を図っていくため、民間活力を活かした駅周辺地域の整備を進めます。特に、既存商店街との連携・調整を図りつつ、さらに魅力ある個店の配置や集合店舗化等を促進していきます。また、駅前通りを本市のシンボルとなる街並みとして位置づけ、修景や美化を促進します。

■プロジェクトの具体的内容

- ▶ 商店街の活性化（個店の魅力再生・事業承継支援、共同店舗化支援など）
- ▶ 新たな高次都市機能の整備・誘導
（芸術文化機能、余暇娯楽機能、医療福祉機能の誘導など）
- ▶ 市のシンボルとなる景観形成（景観地区の指定、景観計画の策定など）
- ▶ 推進体制の構築支援
（中心市街地活性化基本計画の策定、まちづくり会社の設立支援など）
- ▶ 回遊性を高める交通手段の整備に向けた支援
（駅周辺におけるコミュニティバスの運行など）

食と文化による生涯学習推進プロジェクト

■プロジェクトの概要

食事や食生活を通じて心身や人間性を育てる「食育」を進めるため、家庭と地域、教育現場が連携した取り組みを進めます。

特に、学びや気づきによる地域の食文化への理解を進めるとともに、地域の食材を積極的に活用する体制を整えます。

また、さまざまな場面で活躍する市民や経験豊富な団塊世代・高齢者の協力により、地域の伝統文化などに対する理解と関心を深め、生涯を通じた心豊かな人間教育の推進を図ります。

さらに、国際社会に適合できる感性豊かな市民を育てるため、在住外国人などの協力を得ながら、外国文化に関する学習機会の充実を図るとともに、国際交流の発展を図ります。

■プロジェクトの具体的内容

- ▶ 保育や教育の現場における食育の推進
- ▶ 学校給食への地域食材の利用の推進（学校給食への供給体制の構築など）
- ▶ 地域の人材を活用した伝統文化等の学習機会の充実
- ▶ 生涯スポーツにおける地域の人材の活用
- ▶ 在住外国人との交流・連携による国際教育の推進
- ▶ 生涯学習の成果をまちづくりに活かす体制の整備

プロジェクト3

小地域ふれあい交流サロン推進プロジェクト

■プロジェクトの概要

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを感じながら必要なケアを受けることができるよう、地域集会施設等を活用した世代間交流を進めます。

ここでは、高齢者を単に身の回りの世話などを受けるだけの存在とするのではなく、就業している親に代わって地域の子どもたちの面倒を見たり昔の遊びを教えたりするなど、互助の精神に基づき一定の負担や貢献も行う存在として位置づけていきます。

また、こうした取り組みを支える専門人材の派遣や運営補助者の育成・確保を進め、日常的な取り組みとして定着を図ります。

■プロジェクトの具体的内容

- ▶ふれあいの“場”の確保・整備（地域集会施設、公民館等の活用など）
- ▶ふれあいボランティア（仮称）の確保・育成
（事業の運営に当たる者＝コーディネーターの確保など）
- ▶福祉・医療など専門的支援の実施（保育士、保健師等の派遣など）
- ▶世代間交流イベントの実施（交流・発表の機会の確保など）
- ▶地域文化継承への支援（地域集会施設における地域学習の実施など）

プロジェクト 4

農を起点とする新たな地域産業創造プロジェクト

■プロジェクトの概要

潜在力の高い地域産業である農業を中心として、その付加価値を高めるための産業間連携や新たなビジネスモデルの開発を進めます。

また、都市住民との交流の推進や商工業との連携による農業の多面的価値を引き出す取り組みを強化します。

さらに、農業法人等の担い手を育成する中で、農業の主たる担い手への農地の集積を進め、農業経営の近代化を促進します。

■プロジェクトの具体的内容

- ▶ 農地流動化およびあつ旋仲介、就農支援を総合的に進めるシステムの構築（農地保有合理化法人の設置など）
- ▶ 特色ある教育機関との連携による新たなビジネスモデルの開発
- ▶ 援農団体・農業法人の育成
- ▶ 都市住民との交流機会の充実
- ▶ 農業と商工業との連携の推進

災害に強いまちづくり推進プロジェクト

■プロジェクトの概要

地震などの大規模災害に際し、全国から集まるボランティアの善意が有効に活かされるよう、被災地のニーズの把握や諸団体などとの連携を調整（コーディネート）する防災ボランティア・コーディネーターを養成するとともに、いざという時にすばやく安全に避難できるよう、地域自治組織単位での避難地図づくりを促進します。

また、情報提供体制や物資の確保などに不安がないよう、準備や態勢を整えます。さらに、被災時に他の自治体や民間企業などの協力が迅速に得られるよう、救援・復興活動に関する協定の締結を進めます。

■プロジェクトの具体的内容

- ▶防災ボランティア・コーディネーターの養成
- ▶洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップの作成
- ▶救護や応急措置ができる市民ボランティアの育成
- ▶無線等による災害情報の提供体制の確立
- ▶他の自治体や民間企業等との災害協定の締結推進
- ▶震災物資備蓄の強化

プロジェクト6

市民の声を活かす協働のまちづくり推進プロジェクト

■プロジェクトの概要

自治の基本原則や、行政の基本ルールなどを定めた自治基本条例（仮称）を制定し、これに基づく市民の市政への参画を促進します。

特に、政策形成や行政評価など、これまで市民にあまり公開されてこなかった分野における市民の参画機会を増加させるとともに、市政情報の提供を積極的に行います。

また、NPO法人やボランティア団体など、意欲ある市民からなる組織を協働の先導役と位置づけ、これらの団体との連携によるまちづくりを進めます。

■プロジェクトの具体的内容

- ▶自治基本条例（仮称）の制定
- ▶附属機関等への公募委員登用制度の創設
- ▶市政出前講座の開催
- ▶市政インターネット放送局の開設
- ▶NPO法人等との連携推進プラン（仮称）の制定

地域ブランド戦略推進プロジェクト

■プロジェクトの概要

特産品などの“もの”に限らず、地域が有する“こと”や、伝承する“文化”、“風習”など、甲斐市だけに存在するさまざまな資源を活かし、その価値を磨き上げ、ブランドとして確立することにより、他の地域との差別化を図り、市場における情報発信力や競争力の面で優位性を確保することをねらいとする取り組み（地域ブランド戦略）を進めます。

また、本市の一体感を醸成する全市的なイベントを開催します。

■プロジェクトの具体的内容

- ▶ 地域ブランド資源の発見・発掘
- ▶ 地域ブランド資源の磨き上げ
(特産品開発、交流環境整備、農産物の品質向上など)
- ▶ 「甲斐的ブランド(仮称)」によるPR活動の推進
(キャンペーン、各種コミュニケーション活動など)
- ▶ 市を代表するイベントの企画・開催